

今年を総括する一方で、新年に向けての準備も増していく年の瀬。越美山系砂防事務所では、安全協議会において、施工現場での安全対策の技術を官民が相互に学び、安全施工管理技術の向上を図りました。また、越美山系大規模土砂災害危機管理連絡調整会の設立式が行われ、土砂災害に対する危機管理体制の充実を図るべく活動を開始しました。

安全な工事施工に向けて ～事務所安全協議会の研究発表会を開催～

平成26年度 越美山系砂防事務所安全協議会を12月3日に開催し、安全施工技術に関する研究発表会を行いました。当協議会は、事務所管内における労働災害を防止し、工事等を安全に推進する事について、啓発を図ることを目的としております。

当日は、各々の現場において実施している安全施工のための諸施策について、工事等を受注している請負業者の中から14名の方々が発表されました。その中から最優秀賞と優秀賞が選ばれ、岩男事務所長より表彰状を授与させて頂きました（表彰された方は右上の通り）。

また、安全に対して更なる意識向上を図るため、岐阜労働局大垣労働基準監督署から若田安全衛生課長に出席いただき、建設業の労働災害防止対策について講演を行って頂きました。

- ・根尾川流木対策工事
＝田中建設工業(株) 山口タケルさん<最優秀賞>
- ・地谷第2砂防堰堤工事 ＝西建産業(株) 佐藤武志さん
- ・越波谷第3砂防堰堤資材運搬道路工事
＝(株)所組 高橋政宣さん



表彰された発表者の方々



沢山の方にご参加頂きました

設立式を開催して始動

～大規模土砂災害危機管理連絡調整会～

越美山系大規模土砂災害危機管理連絡調整会は、12月2日に設立式を開催して、活動をスタートしました。

設立式には、当連絡調整会の共同会長である藤原本巢市長及び宮宗揖斐川町長を始めとした参加機関の方々に出席及び覚書に署名をして頂きました。設立式終了後に行われた第1回連絡調整会では、年明けの1月25日に開催を予定している合同防災訓練の実施について、意見の交換がなされました。

今後、関係機関との認識を共有するための情報交換、災害時の役割分担や連携内容の調整をして、土砂災害に対する危機管理体制の充実を図っていきます。



参加機関で覚書に署名

砂防担当者会議が管内で開催

中部地方整備局の第51回砂防担当者会議が、12月9日と10日にわたって本巢市根尾文化センターで開催され、当事務所の職員のほか、本局河川部、沼津河川国道、静岡河川、富士砂防、天竜川上流河川、多治見砂防国道の各事務所の砂防担当職員が参加しました。

9日の会議ではTEC-FORCE活動報告と改善点、被災箇所、被災箇所の溪流及び施設点検方法について、情報共有が図られました。加えて、昨年度まで当事務所職員であった(一社)中部地域づくり協会河川技術部の大塚次長より講義を行って頂きました。

10日は現地調査訓練として、各班に分かれて溪流及び施設点検を実施し、点検結果を取りまとめて発表を行いました。



担当者会議の様子

現場はすでに雪化粧

事務所周辺でも除雪が必要な量の積雪がありましたが、既に雪に閉ざされている施工現場もあります。昨年度は例年にない雪不足で、山々の雪化粧もナチュラルメイクでしたが、今年の年末は、山間部で平年より多くの降雪がある予報となっています。



砂防担当者会議の現地訓練も雪の中の作業でした

土砂・流木捕捉機能が回復 =湧谷=

今年の8月、台風11号の豪雨により土砂や流木が流出した湧谷(わくたに)において、流出した土砂を捕捉し下流への被害を未然に防いだ湧谷第1砂防堰堤の機能を回復させるため、捕捉した流木や土砂の除去作業が完了し、次の土石流に対する備えが整いました。



除石作業が完了

12月に入り越美山系の山々もすっかり白くなりました。標高が高く積雪に覆われるなど、冬期に工事を行う事が出来ない現場は12月から1月が工期末となっており、次々と工事が完成しています。

急峻な斜面での施工 = 高地谷 =

揖斐川町小津（おづ）地先で工事を進めてきた高地谷（たかちたに）第1砂防堰堤道路工事（施工：西濃建設（株））は、砂防堰堤の建設を行うにあたり、資機材運搬にも必要となる林道の付け替え工事を行っています。本工事は崩壊跡地を通過する難工事区間で、崩壊斜面を掘削し安定化させる工事を行っており、今年度予定した工事が完了しました。



法面工も残り1段の施工となる

なお、来年度も引き続き本区間の施工を行い、付け替え林道全体を完成させ、本堤の着工を目指します。

交通事故防止を重点に = 越波谷 =

本巣市根尾越波（ねおおっぱ）地先で工事を進めてきた越波谷第3砂防堰堤資材運搬道路工事（施工：榊所組）は、平成23年8月に越波谷右支溪で発生した土石流を捕捉したことにより、計画以上に堆砂が進んだ砂防堰堤の機能を回復させるため、堆砂土砂の除石・運搬するために必要な、管理用の資材運搬道路の設置と、除石の一部を行うもので、今年度予定した工事が完了しました。



資材運搬道路が完成し除石を一部実施

なお、来年度も引き続き除石を行い、土砂捕捉機能を回復させる予定です。

現場技術者の声

本工事は砂防堰堤の新設に伴う林道の付け替え工事でした。施工箇所は急峻な地形で高低差が50mほどあり、危険で施工も困難な場所でした。また、施工箇所の下には既設林道の迂回道路があり危険防止のため、通行止めでの作業となり迷惑をかけてしまいましたが、地域住民・道路利用者・協力業者でコミュニケーションを密にし無事故無災害で竣工することができました。協力して下さった皆様に感謝いたします。



現場代理人
西濃建設(株)
高木良祐さん



現場代理人
榊所組
高橋 政宣さん

国道157号が災害で通行止になり、資材運搬が可能な道路は、狭隘な林道の1ルートになりました。紅葉シーズンも重なり一般車両との事故を防止するため、大型車両の先頭に誘導車を走行させ、車両のすれ違い可能な待機所に対向車の待機をお願いし、交通事故・通行車両等からの苦情をゼロにし、無事工事を完成しました。この場をお借りしまして、越波ならびに大河原地区の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

道路が通行止めに = 岡谷溪流 =

本巣市根尾大河原（ねおおがわら）地先で工事を進めてきた大河原岡谷（おかたに）溪流保全工事（施工：榊所組）は、安全に土砂や洪水を流下させる事を目的に、床固工と流路護岸工の施工を行って来ましたが、今年度予定した区間の工事が完了しました。



約60mの溪流保全工が完成

なお、来年度も引き続き溪流保全工の施工を行います。

既設堰堤がパワーアップ = 矢中谷 =

揖斐川町東横山（ひがしよこやま）地先で工事を進めてきた揖斐川流木対策工事 矢中谷（やなかたに）工区（施工：西濃建設（株））は、既設の矢中谷第2砂防堰堤に鋼製流木止めを設置して流木捕捉機能を高める工事と、砂防堰堤の安定化を図るためのアンカー工を施工する工事を、昨年に引き続き行って来ました。今年度の工事をもって全て完了し、パワーアップした砂防堰堤となりました。



流木対策工及び堰堤補強が完成

なお、揖斐川流木対策工事は引き続き和佐谷（わさたに）工区の施工を行っています。

施工に影響する台風が多く、現場付近の下川原谷で土石流の発生もあり、道路の通行止や電気・電話の不通となるなど、施工環境には恵まれない面も多々ありました。施工箇所は細長く、作業ヤードを十分に確保することができず、工程管理には苦労しましたが、元請及び協力会社が一丸となり、知恵を出し合って工期内に完成できました。



主任技術者
榊所組
堀江 弘道さん

最後に大河原区住民の皆様には、多大なるご理解・ご協力をいただきこの場をお借りしてお礼申し上げます。



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。
また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp